

(1)平成23年度事業のまとめについて

1)ミニバス路線再編

【ミニバス路線再編のまとめ】

①実施日 平成22年10月16日(土)始発より

②基本コンセプト

- ・ラウンドダイヤを採用し、わかりやすい発時刻での運行を目指す。
- ・各路線始終発時刻及び使用車両台数については、概ね現状維持とする。
- ・再編に関係しない路線については、基本的に変更を加えないものとする。

③平成23年度実施事業

1. OD調査（平成23年5月17日(火)実施）

2. アンケート調査（平成23年8月下旬実施）

3. 独自調査 1)利用者調査・・・三沢台路線利用者減少について市独自に停留所にて利用者ヒアリング調査を実施した。

2)沿線自治会調査・・・三沢台路線周辺自治会に対して市独自にヒアリング調査を実施した。

④前回会議での評価

OD調査では、区間ごとの利用者人員の比較を行ったが、大半の区間において利用者が増加している。また、アンケート調査では、「便利になった」と回答した方が「不便になった」と回答した方を上回る結果となった。利用者も増加しており、再編の効果が表れたと判断した。

⑤利用者状況

路線別の利用人員の推移を分析する。 ※詳細は、4ページ以降のグラフ参照

⑥評価

前回の交通会議にて、OD調査やアンケート調査などの結果から利用者の増加や「便利になった」などの意見が寄せられ、ミニバス路線再編の効果が表れたと判断されている。更には、利用人員の変化を見ると、昨年夏以降は大幅な増加傾向が見られ、今年2月については最大の増加幅を示した。これは路線再編の効果が浸透してきた結果といえる。

【その他の実施事業】

①三沢台路線の増便

従来より利用者の減少が懸念されていた三沢台路線について、利便性を向上し、利用者増をはかるために朝夕の増便を実施する。

実施日：平成24年4月1日(日)始発より

内 容：朝2便増(百草園住宅発 高幡不動駅行き)

夕3便増(高幡不動駅発 百草園住宅中央(新設)行き)

ダイヤ：添付チラシ参照

②ダイヤ改正

4月の定期改正に伴い、ミニバス路線の一部についてダイヤ改正を実施する。

実施日：平成24年4月1日(日)始発より



対象路線：全4路線(市内路線、南平路線、三沢台路線、川辺堀之内路線)

ダイヤ：添付チラシ参照

③バス停増設

地域の利便性向上のため、バス停を増設する。

実施日：平成24年4月1日(日)始発より

路線名	設置区間	バス停名	設置位置	備考
川辺堀之内 路線	堀之内緑道 ～東豊田一丁目	第一住宅		
三沢台路線	百草園住宅 ～百草園住宅東	百草園住宅 中央		聖蹟桜ヶ丘駅 方向のみ

④誤乗車防止対策

兼ねてより不安視されていた豊田駅北口⑥番のりばの誤乗車について、防止策として以下の取組みを実施した。また、乗車の際の車外アナウンスの徹底などを運行事業者に働きかける。



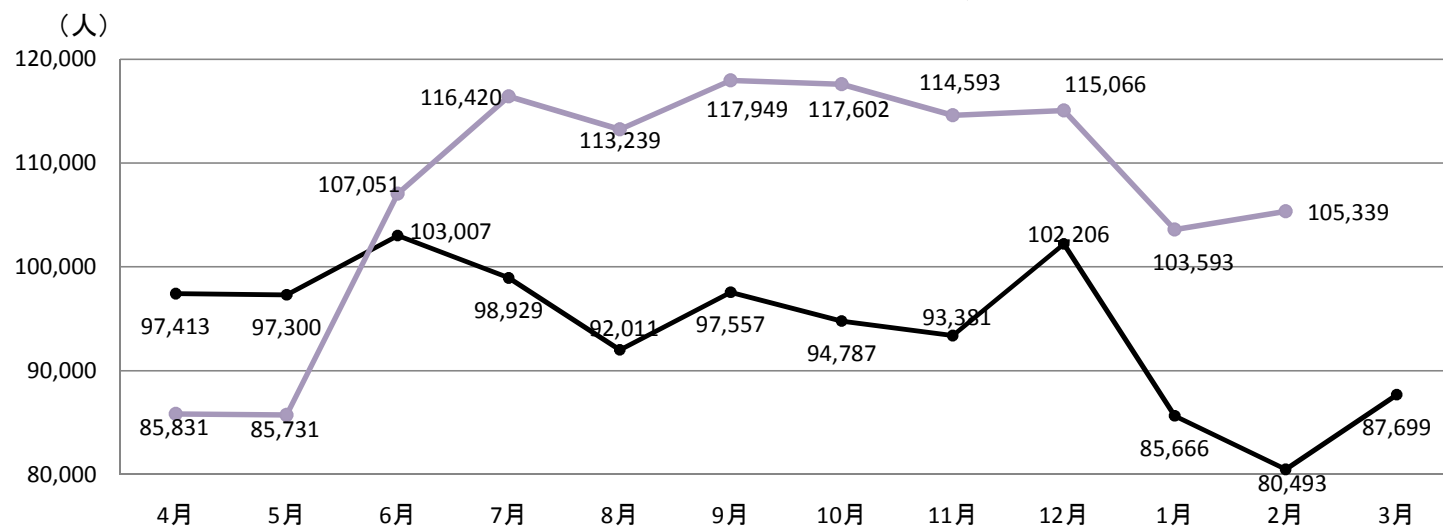
豊田駅北口⑥番のりばに掲示

ミニバス利用人員表

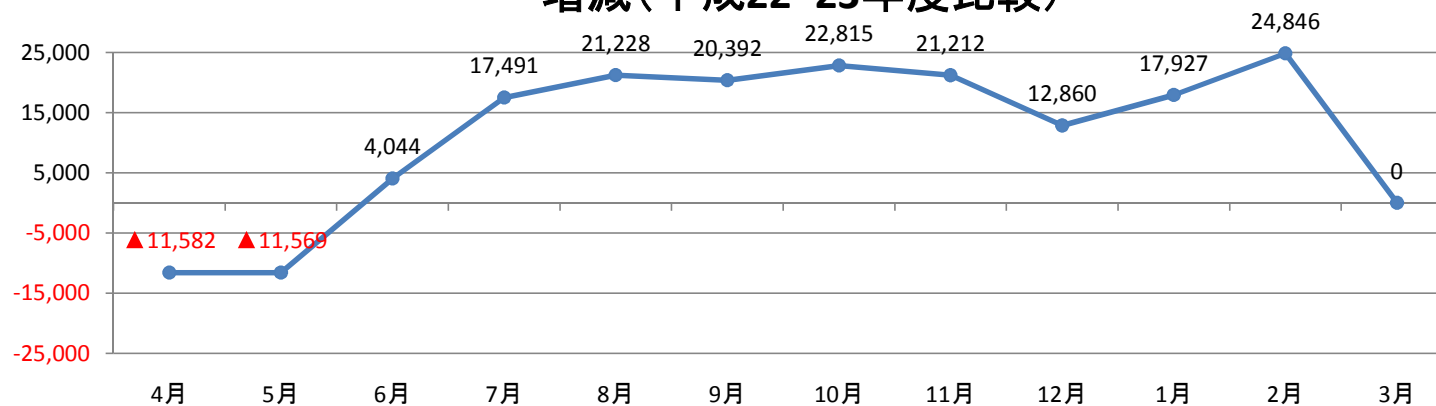
※日野台路線除く

コメント

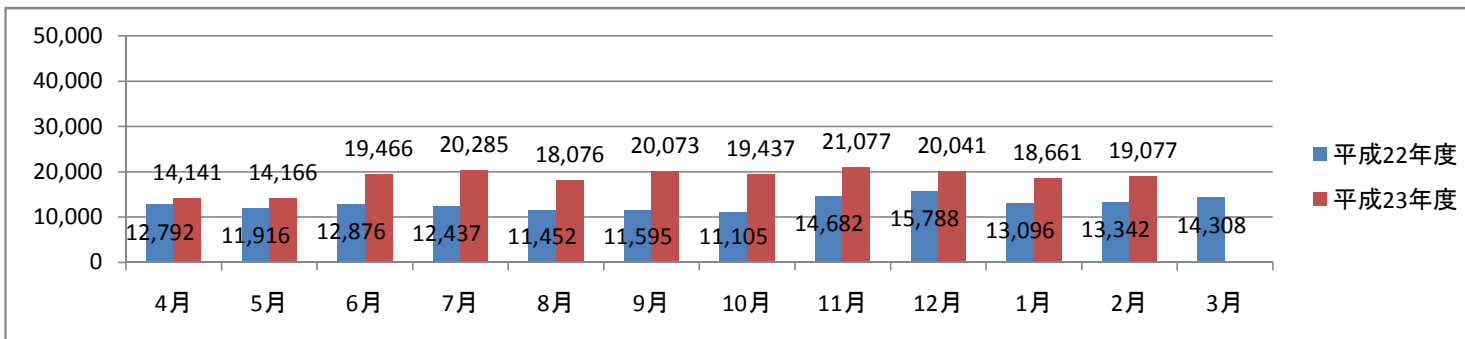
再編を実施した平成22年10月以降と比較して、今年度当初を除いては著しく増加しており、2月においては過去最高の増加人数となっている。



増減(平成22・23年度比較)

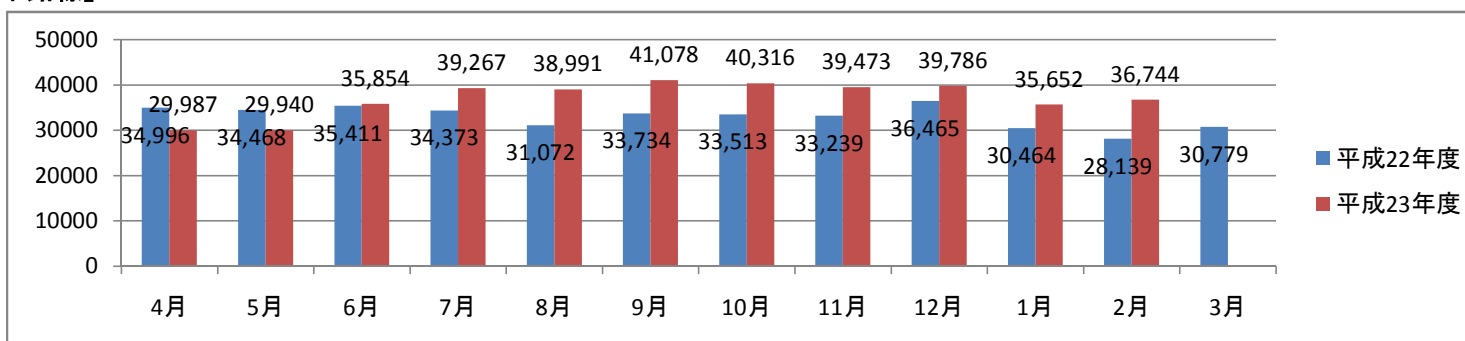


【市内路線】



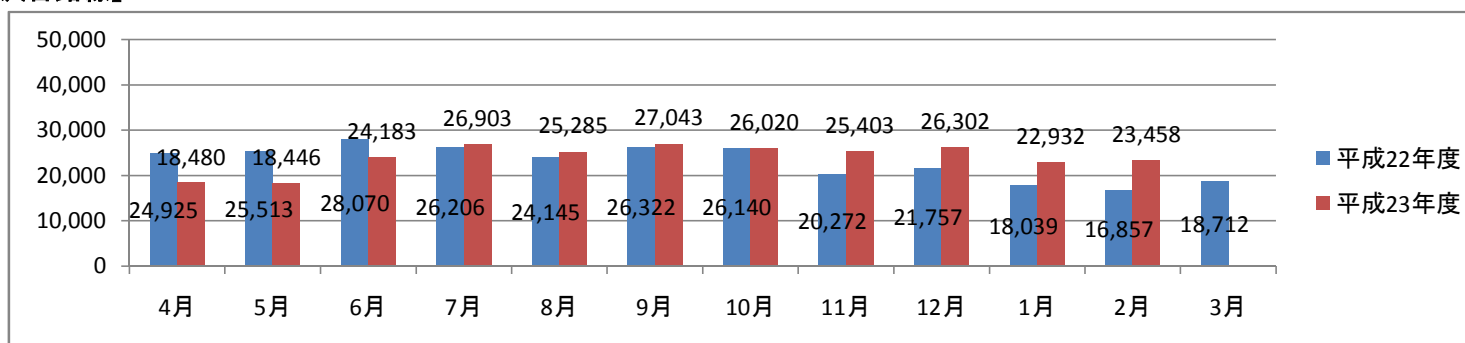
コメント	
年間を通して昨年度実績を上回っており、再編の効果があつたと言える。伸び率も全路線中で最も高い。	
伸び率	1.38

【南平路線】



コメント	
年度当初は昨年度実績を下回ったが、それ以降は昨年度実績を上回っており、再編の効果があつたと言える。	
伸び率	1.18

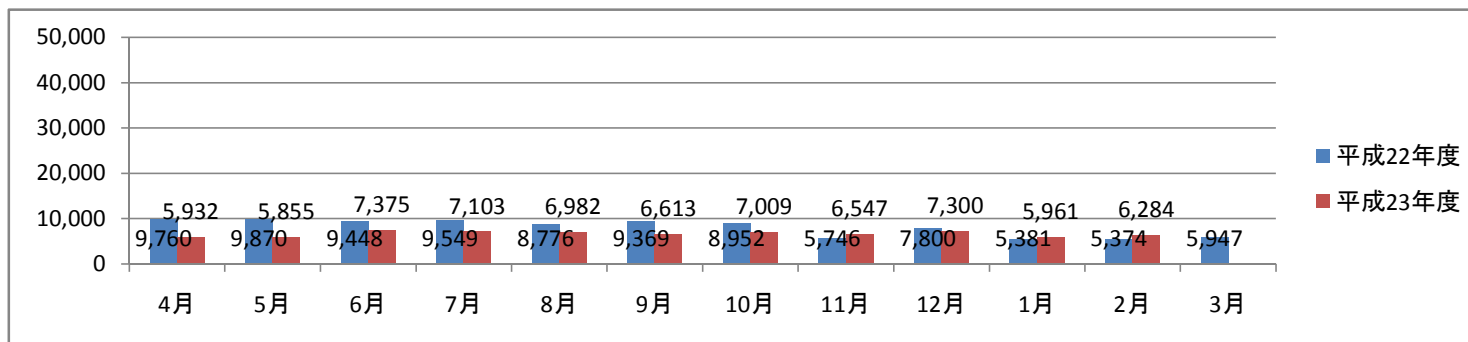
【三沢台路線】



コメント	
昨年夏以降は利用者も増加しており、以前の水準に戻つたといえる。4月の増便で更なる利用者増を目指す。	
伸び率	1.27

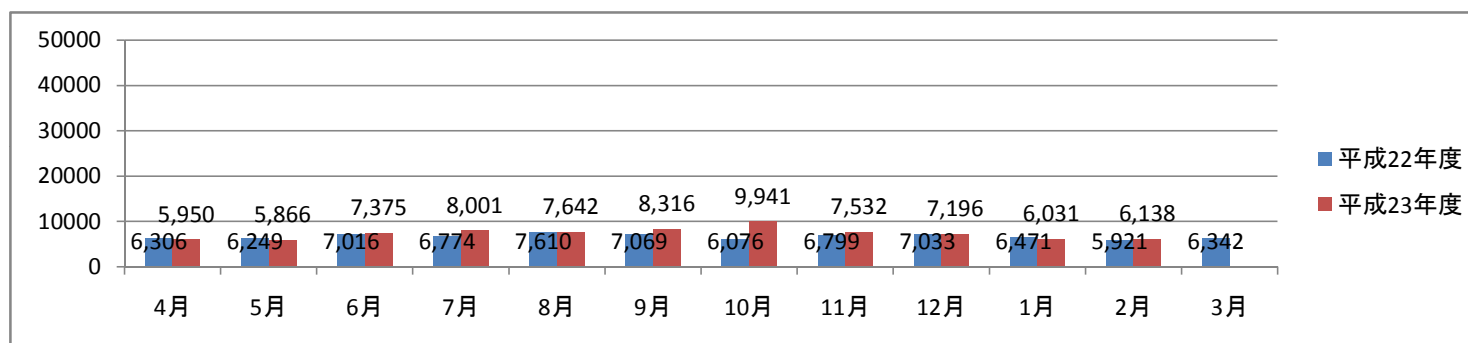
※コメント中の伸び率は、平成22年度11月～2月の平均と平成23年度同月との比較

【旭が丘循環路線】



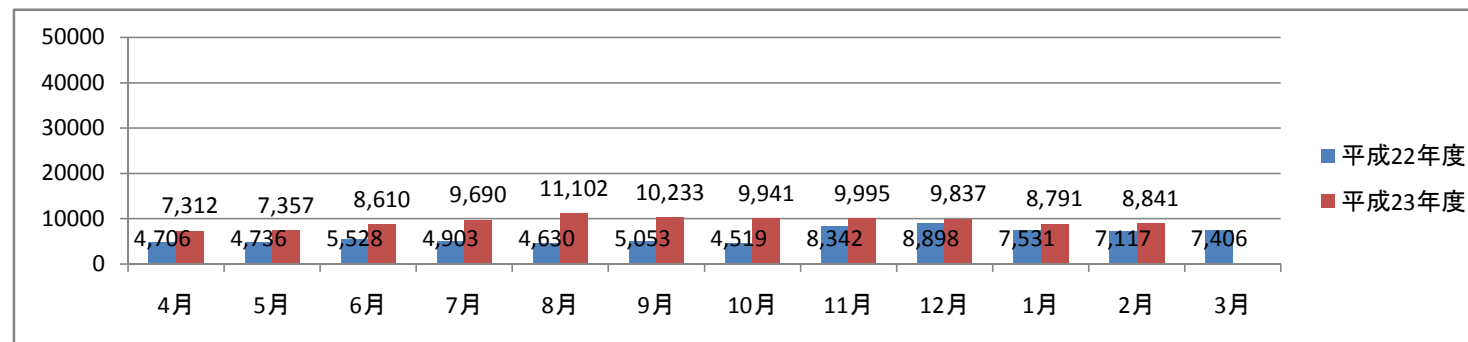
コメント	
再編により路線としての利用者は減少したが、再編以降の数字を比較すると増加の傾向が見られる。今後、PRなどを実施し、更なる利用者増を目指す。	
伸び率	1.08

【落川路線】



コメント	
再編による変化の無かった路線であるため、昨年と同様の利用者となっている。	
伸び率	1.02

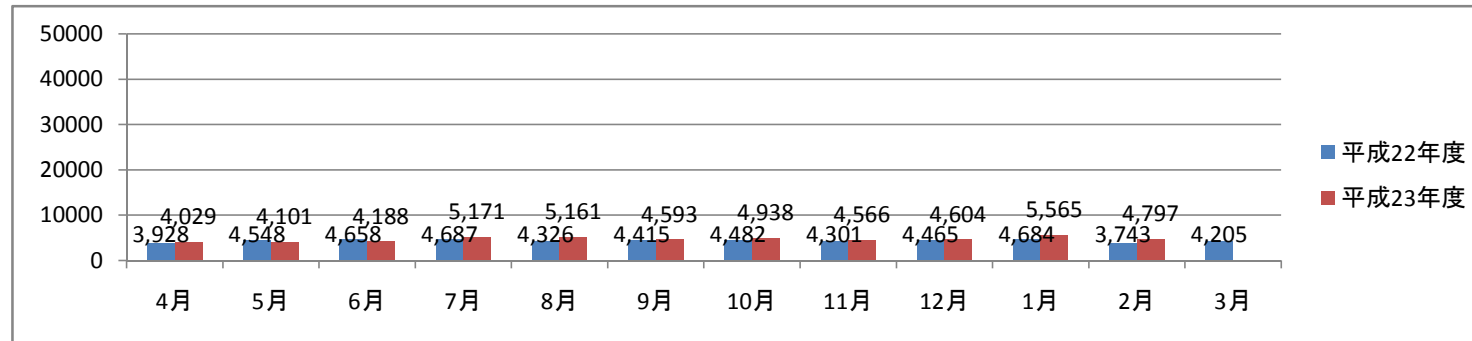
【平山循環路線】



コメント	
再編によって利用者が著しく増加しており、効果があったと言える。再編以降を比較しても増加傾向である。	
伸び率	1.17

※コメント中の伸び率は、平成22年度11月～2月の平均と平成23年度同月との比較

【川辺堀之内路線】



コメント	
再編による変化の無かった路線だが、平成21年の開設以来、利用者は増加している。バス停増設などのサービスアップにより更なる増加を目指す。	
伸び率	1.13

※コメント中の伸び率は、平成22年度11月～2月の平均と平成23年度同月との比較